

---

# 窓辺

石塚

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

窓辺

### 【著者名】

Z2907D

### 【作者名】

石塚

### 【あらすじ】

僕は席替えをした。窓辺の一番後ろ、最後の座席が決まった。

パキ、パキ

僕は窓辺に座っている

窓辺の一番後ろ、高校生最後の座席がここに決まったときは本当にうれしかった。三年生になつてから一度も席替えをしなかつた担任が、熱心に頼んだ一部の生徒に負けて、一度限りの席替えをした時には、一瞬だけよい子になつたのを覚えている

「おはよっ・・・・

パキ、パキ

担任が肩を落としながら入ってきた

「みんなおはよう・・・・・・」

僕らはみんな、担任が元気が無いのを知っている、生徒が四人、行

方不明だからだ

「あいつらが無事に帰つてくれる」ことを願うしかない・・・・みんな  
も願つてくれ・・・・・・」

担任は僕をチラッと見た後、また頭を下げて教室を出ていった

パキ、パキ

窓から見える景色は絶景で、高い山に雲が掛かり、映画のワンシーンのようだ

「・・・・・」

消えた四人は男子が一人で女子が一人、別段仲が良かつたわけではないけれど、クラスメイトが消えたのはいい気分がしないし・・

なにより四人は僕の前の席だからだ

パキ、パキ

窓辺の四人が前から消えている、後は僕一人だけだ、僕も消されるのだろうか

パキ、パキ

僕は窓辺の席から景色を見ている

パキ、パキ

僕を消す人間はきっとあいつ、僕がこの席に来る前にここに座つて  
いたあいつ

パキ、パキ

あいっは美術部で、あいっは写生が好きで

パキ、パキ

あいつは僕を睨み付けている

あいつはまた、鉛筆を削っている

僕は残りの時間、もう少し窓辺を楽しもうと思つ

パキ、パキ

E  
N  
D

(後書き)

初めまして（――：）時間を割いてくれた方、ありがとうございます

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2907d/>

---

窓辺

2010年10月11日14時58分発行